

# 新年のご挨拶

美波町長 影 治 信 良



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、新春をお健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。旧年中は町政の推進に対し深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年一昨年に引き続きコロナ禍に振り回された一年でありました。

1月に第3波、4月・5月に第4波、そして8月・9月に第5波と、国内全域に感染が拡大し緊急事態宣言やまん延防止等の措置がとられ、国民に不安を与えると共に経済活動もストップするなど政治も社会も経済も混乱を極めたところでありました。

その一方で対策の切り札としての新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業が開始されました。美波町内でも、町内五医療機関のご協力の下接種が行われ、昨年末の住民全体の接種率は87%（65歳以上の接種率は93%）となりました。医療従事者の方々には、通常診療に加えて対応をしていただき感謝を申し上げます。

しかしながら、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン」が国内で確認されるなど予断を許さない状況が続いております。引き続き油断することなく、公的機関の提供する正確な情報に基づき、感染リスクの回避に努めていただきますようよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍の中であって、明るい話題もありました。

その一つが4月26日の、東京2020オリンピック聖火リレー及びミニセレブレーションの開催であります。ソーシャルディスタンスをとりながら5人のランナーが役場前から薬王寺下まで聖火リレーを行いました。

二つ目は、ReHOPE POSTER（リホープポスター）の寄贈です。

このリホープポスターは、TBS日曜劇場で放送されました「日本沈没—希望のひと—」のプロモーションの一環として美波町を選んで頂き、由岐湾内地区の浜に漂着したゴミを拾い集め日本列島を表現した作品で、由岐地区の住民の皆様や由岐小学校の児童の皆さんも参加し制作さ

れたものです。このリホープポスターは、「希望を、捨てたままにはさせない。」というテーマで、海岸に流れ着いたゴミに再び光を当てることで、環境汚染や日本の危機を訴える作品であります。美波町も現在、人口減少という危機に直面しており、さらに南海トラフ地震という自然の驚異にいつ襲われるか分かりません。

「子ども」という、正に地域の希望が、前向きな心で関わって下さったということが、本当に素晴らしいと思います。

三つ目は年初早々に令和2年度ふるさとづくり大賞（総務大臣表彰）を受賞することができたことです。評価された点は、平成23年度から取り組んでまいりましたサテライトオフィス誘致事業の中に地域課題解決に向けたイノベーション創出の動きが見られる点、新たな移住スタイルを確立した点、さらには「にぎやかそ」が他の中山間地域を持つ自治体の参考になるなどの点であります。

徳島県内では13年ぶりとなる地方自治体表彰であり、しかも第二期地方創生の初年に栄えある表彰を賜りましたことは、美波町のまちづくりに大きな励みと自信になるものでございます。

現代の社会は「何が起るかわからない」「何が起ってもおかしくない」不確実性の時代であります。このような不確実性の時代を乗り切るには行政と町民が一丸となって力を合わせる事が何よりも大切であります。

そのための共通の「理念」「合い言葉」であり、過去から現在そして未来へ、子どもたちへ希望と夢をつなぐメッセージとして、そして今を生きる町民全員の相互の信頼と誓いを込めた町民による町民のための「にぎやかそ町民憲章」を今春策定する予定であります。

本年も世界情勢や国・県の動向を注視しながら、「住んでよかったと実感できるまち」の実現に向けて、職員共々努力を重ね住民の皆さまの負託に応えて参りますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。

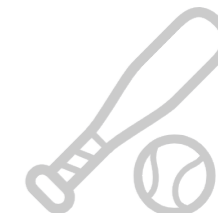
過疎であっても、  
町内外から人が集い、にぎわいが絶えない町、美波町。  
そんな「にぎやかそな町」の様子をご紹介します！

にぎやかそ

## 2021年度学童及び中学軟式野球優秀選手に 美波町から2名が選出！



徳島県中学校軟式野球優秀選手に柘井奨菜さん（写真左）、徳島県学童軟式野球優秀選手に西丸侑来くん（写真右）が選ばれました。



## 小学生女子バレーボール「やまびこカップ」 日和佐ファイターズ準優勝！



11月21日に開催された小学生女子バレーボール「やまびこカップ」にて、日和佐ファイターズが準優勝しました！

